

学校だより

四 中 の 風

令和 5 年 度
第 1 3 号
R6. 2. 28
文責：校長
安達正治

卒業式まで残り一週間ほど、また、今年度も残り1ヶ月ほどとなりました。年度末の学校生活を充実させ、新年度につなげていきたいと思ひます。

「学校評価の」報告②

く保護者アンケート（記述によるもの）く

前号の「四中の風」で数値による集計結果をご報告いたしました、今回は記述により頂いたご意見（改善を望まれたもの）等を報告いたします。併せて、回答できるものについては簡単に回答いたします。なお、紙面の都合上すべてのご意見等は掲載できませんので、比較的多かったご意見を中心に紹介致します。教育委員会へのご意見等は学校でまとめて委員会へお伝えさせていただきます。表記において文意を変えないと思われる範囲で要約等をしていきますので、併せてご承知おきください。また、たくさん励ましのメッセージや謝意等もいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

○十一月の授業公開日は平日に行われました。年間予定表通りの土曜日開催の方が保護者の参加率も高いように思ひます。／PTA総会は平日開催を強くお願いしたい。今年は部活の大会と重なり、参加できなかった。

↓土・日の出校日については、その必要性を検討し、可能な限り減らす方向で調整しています。本年度の土日の出校日は、五月十三日（土）の授業公開・PTA総会の一日にしましたが、来年度はこれらも平日に行うことで調整しています。保護者のお考えも様々あると思ひます。平日のお出かけしやすい時間帯を設定するなどの工夫をしていきたいと考えますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○給食の時間が短いので残すことになる。成長期なので、朝と夜だけでなく昼ご飯もしっかり食べさせたい。よろしくお願いします。

↓現在の生活時程では、給食の時間は準備等の時間も含め三十五分間です。この時間が他中学校などと比べ著しく短いわけではないと認識しています。ただ、ご指摘のように成長期の食事は体づくり、健康づくりのためにも大切ですので、準備時間の短縮につながる取組や、必

要に応じた個別の対応を検討していきたいと考えます。

○勉強ができない子にも諦めずに教えてほしい。できないのは、やり方が分からないのではないかと思う。／授業、ワークだけじゃなくテスト勉強方法なども教えてほしい。

↓授業改善、学習指導法の改善は教師としての責務です。ご指摘の内容を踏まえ、生徒への指導の在り方について検討、改善していきます。

○夏に關しての制服ですが、六月から十月までは体操服にして欲しいです。夏服の制服でも暑すぎて可哀想でした。徒歩で通わせる以上は、少しでも涼しい格好をさせてあげて欲しいです。

↓本年度は、熱中症対策と体育祭の準備のため七月三日から九月十四日を体操服通学の期間にしました。今後も気象状況等に留意し、体操服通学の期間を検討していきます。

○髪型やスカートの長さ等、守れないことが心配です。／授業中に歩いて喋っている子がいたり、お菓子を食べている子がいたりすると聞きます。授業に集中しづらい環境と思ひます。対策を考えて欲しいと思ひます。／化粧やピアスや、頭髪を染めるなど はっきりとした指導の線引きを表して欲しいです。／毎日の登下校中に、歩きながらスマホを構っている生徒を見かけます。身だしなみもあり良くないように見えます。

↓ご指摘のことは認知し、継続的に指導していますが十分に改善されず、ご心配をおかけしており、大変申し訳なく思っています。頂いたご指摘やご意見は真摯に受け止め更なる改善を図れるよう、粘り強く指導を続けたいと考えています。

○生徒に対して、下の名前を呼び捨てにする先生をお見かけしました。親しみを持てることもかもしれませんが、保護者としては、不快に感じます。学校全体での改善をお願いします。

↓教職員研修を充実させるなど、学校として改善を図ります。

○タブレット持ち帰りについて問題あります。学習面以外の動画も見られるようで夜更かしが増え困っております。生活リズムが乱れる原因です。学習面以外には使用出来ない設定にしてほしいです。／スマートフォンの使用の決まりを子どもが守っても、他の生徒とのつながりの中で問題が起こってしまうことがあり、困っています。

↓津田古志原夢さばう学園では、「夜九時半までにメディアは親に預ける」というルールを設けています。また、本年度も講師を招いた講演会やビデオ教材などを用いた学級活動等を行って、ネットトラブル防止に向けた学校の取組を重ねてきました。学校でも様々な工夫をし

粘り強く指導していきますので、ご家庭でもスマートフォン利用のルール設定や声かけ等を引き続きお願いします。生徒に貸与されるタブレットの使用については、使用時間等の制限を設定できないか研究したいと思ひます。

○体育の柔道着や机椅子カバーなどについて、各自で購入する以外に手立てはないでしょうか。例えば、教育振興会費で購入する。あるいは給食の白衣のように共同利用するような方法はとれないでしょうか。

↓出費多端の折、保護者の皆様には大変なご負担をいただいておりますこと、感謝申し上げます。教育後援会役員の皆様にご相談し、机椅子脚カバー等、新年度より教育後援会の予算の範囲内で購入することになりました。また、柔道着や制服については数やサイズに限りはありますが、地域学校協働活動支援本部に貸し出し用がありますので、必要な方は担当者までご相談ください。なお、本校をご卒業の際など、不要になりました制服、体操服等ございましたら、ご寄付いただけると助かります。ぜひ、ご検討くださいませ。

○津田古志原夢さばう学園

令和五年度第二回学園教育推進会議

去る二月二十日、学園教育推進会議を委員の方、四中学校内の小学校、幼稚園、保育園の関係者二十八名が出席して、本校にて行いました。

会の冒頭に、学園教育推進会議の大房会長から両小学校の五、六年生にあいさつ運動を啓発するクリアファイルの贈呈がありました。そして、小中学校側から今年度の小中一貫教育の取組を説明した後、子どもたちやボランティアの方の関わりの様子、学校と地域の連携などについて意見を交換しました。「今年度はコロナ禍前に近い形で、中学生がボランティアとして参加する地域行事が行われた。数年ぶりの実施となり、準備段階でかなり戸惑うことはあった。が、中学生が参加することで、地域行事が盛り上がり、良かった。」などが報告されました。今年度四中では、一月末現在のベ



クリアファイル贈呈の様子

が強力であると認識しています。今後も地域との連携により教育活動の充実につなげていくことが大切であることを感じました。参加していただいた委員の方、ボランティアとして学校を支えていただいた地域の皆様、ありがとうございました。

○令和五年度第三回学校運営協議会

二月七日（水）に学校運営協議会を行い、六名の委員の方にご参加いただきました。学校運営協議会の概要については、次のように報告いたします。

記

○日時 令和六年二月七日（水） 十五時五十分～

○会場 松江市立第四中学校

○議事の要旨

- 1 不登校生徒の対応について
- 2 心配な生徒への対応について
- 3 健全育成の面において、地域でできることについて

○会議経過

【コロナが第5類になった以降の学校行事等の取組について】

大きな行事である体育祭、合唱コンクール、修学旅行、全校集会、職場体験学習など、コロナ禍前の水準に戻すことができ、保護者の参観や三学年そろっての活動を行うことができた。特に職場体験学習は四年ぶりに実施ができ、成果があった。公民館をはじめ、多くの地元の事業所で中学生が大変お世話になり感謝している。

【不登校の生徒の対応について】

今年度から週に一度、管理職、特別支援教育コーディネーター、学年主任等が集まって支援の協議をする場を設定した。学校と家庭の連携がより深まるよう努力した。生徒によって状況は様々で、学校としては個に適切な対応をするよう努めている。

【心配な生徒の対応について】

保護者と連携したり、必用に応じて関係機関と連携したりして、様々な工夫をしながら指導・支援を行っている。すぐに成果が上がらない場合にも粘り強く継続することが大切で、それらの生徒との関係を保てるように指導を続けている。また、頑張っている生徒を伸ばすことも忘れないようにしている。ただ、頑張ろうとしている生徒の学習活動に支障が出ることがないように、教員に再確認していく。

【委員より】

・「不登校生徒等の受け入れについて」公民館での居場所づくりを」と言われている。寺子屋（学習スペース）の運用や他の活動ができるスペースを提供することも積極的に考え、幼小期から親以外の誰かと交流ができるようにする等、子どもを地域全体で育てていくこ

とが重要と考える。

・合唱コンクール時の一年生の態度がとても気になった。また、この時期の三年生の一部の授業態度がひどく、周囲の生徒が嫌な気持ちをもったり、授業に集中できなかったりして、ストレスを抱えている様子がある。学校として対応して欲しい。

・「個性を大切に」と言われるが、どう指導していくかは難しいことであると感じる。ルールを身につけること、道徳心や秩序をどう身につけさせるかについて、地域としても考えていきたい。

・公民館として、生徒のボランティアの受け入れや、ダンス活動での中学生の活躍の場を設けるなど、今後も生徒の健全な生活の一助となるような支援を続けていきたい。

○四中校区子どもの健全育成研修会

二月十七日（土）に津田公民館で、津田子どもを育てる会と古志原地区青少年健全育成協議会の関係者が参加して研修会が行われました。今回は、津田子どもを育てる会が企画、作成された「津田版オリエンタリング」を題材に研修を深めました。参加者は実際に西津田地区に出かけ、オリエンタリングを体験し、「津田版オリエンタリング」の良さや、より良い体験活動



研修会の様子

にするための改善点について、話し合い、考えました。研修会には四中より校長の他、オリエンタリングづくりにボランティアとして参画した四中生のうち二名が参加しました。天候にも恵まれ大変有意義な研修となりました。お世話いただいたありがとうございます。

なお、「津田版オリエンタリング」づくりに四中生が参加した様子等はホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

○第三十五回山陰中央新報社スポーツ優秀選手賞

二月二十日（火）の山陰中央新報で発表があったスポーツ優秀選手賞に四中卒業生の寺本将輝選手（松江北高三年・自転車）が選出されました。おめでとございます。四中卒業生の同賞受賞は、昨年度の佐野陽菜選手（当時松江工高三年・陸上）に続くもので、卒業生の活躍を大変誇らしく思います。後に続く生徒の皆さんも高い目標をもって、頑張っていきましょう。



○ストーリーテリング（お話し会）

二月二十一日（水）と二十七日（火）に、三年生国語の授業でストーリーテリングを実施しました。市立図書館から派遣された語り手の方がよどみなく、何も見ずに語られるので聞き手は物語に引き込まれ、情景を豊かにイメージすることができました。活字を追って読み込むことも大切ですが、様々な読書の楽しみ方をおして「ことば」を豊かにすることは、子どもたちのより健全な成長につながると感じました。

○部活動の活躍

既にホームページではお知らせしていますが、三学期中に各部活動で大会に参加し、以下の受賞がありましたので、ご報告いたします。

・松江市中学生インドアソフトテニス大会

個人優勝 生馬・永瀬ペア

・オロチ杯中学生バレーボール大会

女子 準優勝

・島根県U・ハククラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会

三位

○ゆづあい作品展

市内中学校の特別支援学級の生徒の作品を展示した「ゆづあい作品展」が二月七日～十二日に県立美術館ギャラリーで行われました。四中生の書初めや絵画、著置きなどの作品も展示され、多くの方にお越しいただき、ご覧いただきました。ありがとうございました。

お知らせとお願い

○登下校の交通安全とマナーについて

生徒の登下校について、一部の生徒とは思いますが、「道いっぱいに広がっていて、注意しても無視をする。」「スマートフォンを操作しながら歩いている。」「ノーヘル運転や並進がある。」などのご指摘を地域の方からいただいております。学校では担任等からの注意喚起や不定期の街頭指導など粘り強く指導を行いますので、ご家庭でも交通安全とマナーについてお声がけをお願いします。

○SNSなどのネットトラブル防止について

年度末に向けて、SNS等への不適切な文章や画像の書き込み、なりすまし等のネットトラブル防止のため、各学級で担任から指導することになっています。ご家庭でも使用ルールの再確認やスクリーンタイムの設定、お声がけ等をお願いします。